

## 第2学年〇組 英語科学習指導案

令和5年〇月〇〇日(〇)  
場所 2年〇組教室  
授業者  
ALT

1. 単元名(題材名) PROGRAM 7 A Gateway to Japan (*Sunshine English Course 2*)

2. 単元について

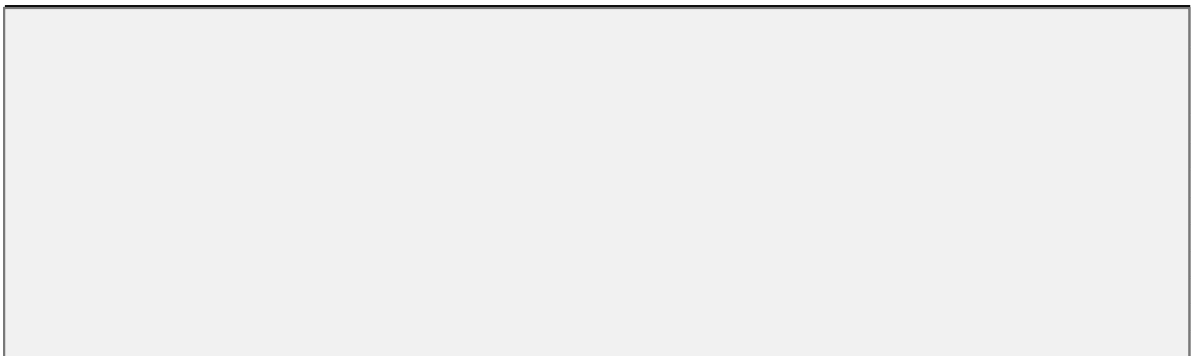
(1) 教材観

本単元では、生徒にとって身近な日本の漫画やアニメなどが取り上げられている。漫画、アニメ、映画、ゲームなどの日本文化は、世界中で広く愛され、Japanese pop culture として人気である。しかしそれは現代だけの話でなく、世界的に有名な画家、ゴッホやモネなども、江戸時代に日本から伝わった浮世絵に大きな影響を受けているということが紹介されている。私たち日本人が長い歴史の中で創り上げてきた文化は、世界の中においても文化的価値が高いということを学び、日本文化の素晴らしさを再認識することができる内容となっている。

言語材料としては、現在完了形の「完了」と「経験」を初めて学ぶ。「(既に/ちょうど)～してしまった」という「完了」の表現は日常的によく使われるフレーズであるが、生徒にとっては過去形との使い分けという点で難しい文法である。一方、「～したことがある」という「経験」の表現は、日常会話の中でもよく使う文法であるので、Small Talk などの表現活動を通して定着を図りたい。また、夏休み・冬休みの課題として、不規則動詞の変化を繰り返し指導してきた。2学期に行った受動態の学習では十分に定着を図ることができなかった動詞の過去分詞形を、本単元で繰り返し指導し定着させることも一つの課題である。

(2) 生徒観

本校2学年は在籍120名、40名×3クラスと、1クラスの最大人数で生活している。素直で真面目な生徒が多く、授業に一生懸命取り組む雰囲気がある。今年度から指導し、スピーチやプレゼンなどの発表活動を繰り返し行ってきたことで、話すこと(発表)に対する自信が芽生えてきていることが11月に実施したアンケートでわかった。また、県の学力学習状況調査では全ての教科で県平均を上回り、英語科では特に大きく上回っている(表1)。



(表1) R4年度埼玉県学力学習状況調査より(2学年結果)

2 学年では「書くこと」(記述式)の問題に対する正答率が高く、生徒が自力で英文を書くことへの抵抗感が少ないことがわかる。しかし一方で、英語でやりとりを継続することや、その場で考えて即興で話すことに対しては苦手意識が強いということが、アンケート結果からわかった。これはパフォーマンステストの内容として発表活動が多く、やりとりについての指導が少なかったことが原因と考えている。

### (3) 指導観

現在完了形は、文型だけでなく、意味の違いを区別することや過去形と使い分けることなど、多くの生徒にとって理解に時間のかかる文法である。時間の流れや場面・状況を明確に設定し、自然な会話の中で使わせることを通して定着を図りたい。また、前課において受動態を用いた「日本文化紹介」を行ったことを生かし、日本文化の素晴らしさや世界から見た日本の良い点について考える機会としたい。

当該授業の2年3組は発言が多く、教師の発問に対して多くの生徒が活発に応答してくれ、非常に授業がやりやすいクラスである。普段から、生徒の活動(発話)時間が授業全体の50%以上となるよう意識して指導をしている。生徒同士の教え合いを促し、スローラーナーも一緒に全活動を行えるようALTと協力して指導する。また、生徒が苦手とする「やりとり」について、Small Talk や Retelling などのペア活動を充実させ、アイコンタクトとあいづちを常に意識させて会話の継続力を伸ばしたい。授業の約束である”Listen”, “React”, “Cooperate”を生徒全員に徹底し、授業全体が英語での「やりとり」となるような授業展開を目指す。

## 3. 研究課題との関連

生徒の発信力を高め、互いに伝え合う指導の工夫  
～Retelling の継続的・計画的な指導を通して～

本研究主題を受け、英語科では、英語という言語を用いて積極的にコミュニケーションを図ることで、発信力を高め、互いに伝えることのできる生徒の育成を目指している。特に、Retelling の活動を継続的・計画的に行うことで、教科書で学んだ内容を自分の言葉で要約し、自分の考えを付け加えて友達に伝える力を身につけさせたいと考え、英語科で協力して研究に取り組んでいる。

2 学年では、Picture Describing を毎時間行い、前時の授業内容を想起し、場面や状況、話の要点を説明する活動を継続的にやってきた。これを Retelling につなげ、各 Program の終わりには Picture Card を見ることで本文の内容と英語が結びつき、友達に伝えることができることを目指して指導を行っている。今学期は一年間の取組の総まとめとして、授業で学んだ内容を自分の考えとともに英語で話し、さらに友達との簡単な問答につなげ、英語で意見を交換できるという達成感を味わわせた。

#### 4. 単元の目標

観点	目標
知識及び技能	現在完了形「完了」「継続」について、基本的な表現を用いた文の特徴や決まりを理解し、「もう終わったか」ということや「～したことがあるか」ということについて伝え合う技能を身につけている。
思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本のポップカルチャーについて、読んだり聞いたりしたことの要点をまとめ、自分の考えを含めて友達と伝え合っている。</li> <li>・日本のポップカルチャーについて、読んだり聞いたりしたことの要点をまとめ、自分の考えを含めて5文程度の英文を書いている。</li> </ul>
学びに向かう力、人間性等	日本のポップカルチャーについて、読んだり聞いたりしたことの要点をまとめ、自分の考えを含めて友達と伝え合おうとしている。

#### 5. 単元の評価規準

(本単元における「聞くこと」「読むこと」「話すこと(発表)」については、目標に向けての指導は行うが、本単元内で記録に残す評価は行わない。)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと 〔やりとり〕		日本のポップカルチャーについて、読んだり聞いたりしたことの要点をまとめ、自分の考えを含めて友達と伝え合っている。質問やあいづちをすることで会話を深めている。	日本のポップカルチャーについて、読んだり聞いたりしたことの要点をまとめ、自分の考えを含めて友達と伝え合っている。質問やあいづちをすることで会話を深めようとしている。
書くこと	<p>〔知識〕 現在完了形「完了」「継続」について、基本的な表現を用いた文の特徴や決まりを理解している。</p> <p>〔技能〕 「もう終わったか」ということや「～したことがあるか」ということについて伝え合う技能を身につけている。</p>	日本のポップカルチャーについて、読んだり聞いたりしたことの要点をまとめ、自分の考えを含めて5文程度の英文を書いている。	日本のポップカルチャーについて、読んだり聞いたりしたことの要点をまとめ、自分の考えを含めて5文程度の英文を書こうとしている。

## 6. 単元の指導と評価の計画

時間	◆ねらい ○学習活動	・主な評価規準 <評価方法>
1	◆現在完了形「完了」の特徴と用法を理解する。 ○Scenes 1	第1時～第3時においては、記録に残す評価は行わないが、指導に生かす見取りは毎時間行う。
2	◆現在完了形「完了(疑問文)」の特徴と用法を理解する。 ○Scenes 2	
3	◆現在完了形「(経験)」の特徴と用法を理解する。 ○Scenes 3	
4	◆現在完了形の意味を使い分け、英文を書くことができる。 ○ペーパーテスト	・現在完了形のうち基本的なものを理解している。 <ペーパーテスト>
5	◆Think 1の英文を読み、概要を理解する。 ○Think 1	第5時～第7時においては、記録に残す評価は行わないが、指導に生かす見取りは毎時間行う。
6	◆Think 2の英文を読み、概要を理解する。 ○Think 2	
7	◆Think 3の英文を読み、概要を理解する。 ○Think 3	
8 本時	◆日本のポップカルチャーについて、伝える内容を整理し、自分の考えとともに伝え合う。 ○Retelling	・日本のポップカルチャーについて、伝える内容を整理し、自分の考えとともに伝え合おうとしている。 <観察>
9	◆日本のポップカルチャーについて、伝える内容を書いてまとめ、3人組で伝え合う。 ○Retelling Worksheet	日本のポップカルチャーについて、読んだり聞いたりしたことの要点をまとめ、自分の考えを含めて5文程度の英文を書いている。 <ワークシート>
10	◆日本のポップカルチャーについて、3人組で伝え合う。 ○Retelling Test	・日本のポップカルチャーについて、伝える内容を整理し、自分の考えとともに伝え合っている。 <パフォーマンステスト>

## 7. 本時の学習

### (1) 本時のねらい

- ・日本のポップカルチャーについて、伝える内容を整理し、自分の考えとともに伝え合おうとしている。(主体的に学習に取り組む態度) <観察>

(2) 本時の展開

	<p>学習活動・学習内容</p>	<p>☆教師の働きかけ ・指導上の留意点 ◎評価&lt;方法&gt;</p>
<p>導入 10分</p>	<p>1. Song "You've got a friend in me"</p> <p>2. Greeting</p> <p>3. Small Talk ・ Listen to the skit.</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ALT: Have you ever read ~? JTE: Yes, I have. What character do you like? / No, I haven't. What is the story about? ALT: It's the story about ...</p> </div> <p>・ Talk with the pair for 1 minute.</p>	<p>☆友達とアイコンタクトを取りながら歌わせる。</p> <p>・ ALT の好きな漫画について話してもらい、興味関心を高める。</p> <p>☆生徒が話題を深められるよう、質問や応答の仕方を練習してから会話させる。</p>
<p>展開 35分</p>	<p>4. Review</p> <p>① Read aloud the textbook sentences using the Reading Sheet.</p> <p>② Describe pictures in pairs looking at the picture cards.</p> <p>Example:</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>Student A: Daniel is talking about his uncle. Student B: Daniel's uncle lives in Italy. A: He is a sport writer. B: He likes Japanese pop culture.</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>A: Daniel's uncle recommended "Captain Tsubasa". B: This is Messi. A: A lot of professional soccer players like "Captain Tsubasa".</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>A: Ken is talking about Japanese pop culture. B: Picture A was drawn by Monet. Picture B was drawn by Gogh. A: These pictures were influenced by Japanese <i>ukiyo-e</i>. B: Japanese culture was also popular 150 years ago.</p> </div>	<p>・自分に合ったレベルで音読させる。</p> <p>・ 普段の授業で同じ活動を繰り返し行い、スムーズに発話できるようにする。 ☆生徒の様子を見て ALT が生徒に質問し、発話を促す。</p>

	<p>5. Retell</p> <p>① Write on the notebook individually. (5min)</p> <p>② Write Keywords on the textbook(p.90). (5min)</p> <p>③ Practice retelling in pairs for 1 minute.</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>Think 1 (example)</p> <p>A: This is Daniel. He got an email from his uncle. His uncle lives in Italy. He loves Japanese pop culture like manga and anime. Manga and anime are popular in the world. I think Japanese anime is great.</p> <p>B: I think so too. What anime do you like?</p> <p>A: I like "ONE PIECE". ...</p> </div> <p>・ React in English. Uh-huh. / I see. / Really?/ Oh, Japanese pop culture./ I think so too. など</p> <p>・ Make questions in English. Do you know~? What manga do you like? What do you think? など</p> <p>④ Change pairs and try 3 times. (10min)</p>	<p>・ 3人組で Think 1~3 を割り当て、担当になった部分を Retell させる。</p> <p>・ ALT と机間指導を行い、スローラーナーの補助をする。</p> <p>☆教科書にはキーワードと数字（話す順）のみを書かせる。文では書かせない。</p> <p>☆話し手は、聞き手の目を見て一文ずつゆっくり話すよう指示する。</p> <p>☆聞き手は、一文ごとにあいづちをしながら聞くよう指示する。</p> <p>◎自己評価&lt;挙手&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アイコンタクト</li> <li>・あいづち</li> <li>・1分間会話継続</li> </ul> <p>・机間指導で良いあいづちや質問を取り上げ、全体にフィードバックしながら3回繰り返す。</p>
<p>ま と め 5 分</p>	<p>6. Retell in Groups</p> <p>・ Get back in groups and retell each other.</p> <p>7. Presentation</p> <p>8. Greeting</p>	<p>◎日本のポップカルチャーについて、伝える内容を整理し、自分の考えとともに伝え合おうとしている。</p> <p>&lt;観察&gt;</p>

\*本時の見てもらいたいポイント

①Picture Describing の指導と生徒の様子

②Retelling の指導の流れ

(まとめ、6.Retell in Groups の際には、ぜひ3人グループに入り生徒の発話の様子を見ていただければと思います。)